

第41回 九州地区本部定期大会を開催



財前委員長

8月31日、北九州市内において開催され、今後の運動方針が満場一致で可決されました。

大会を代表して挨拶に立った九州地区本部財前委員長は、「北九州（夕）で大きな脱線事故が起きた。大雨被害・お盆時期と重なり、現場は大混乱に陥ったが、改めて安全最優先の取り組みを強くお願いしたい。2027年のアボルール改定が迫っているが、

現場や会社も含め緊迫感が全く感じられない。各旅客会社も要員不足に頭を抱え、これまで通りの保守作業時間が確保出来ない厳しい環境下であり、JR貨物の主張ばかりを伝えても事態の解決には至らない。この問題を解決するためにはJR連合の力が必要不可欠であることを強く認識してほしい。人事制度一部修正があったが、賃金改善が遅れていることは明らかであり、離職防止のためにも取り組みを強化していく。組織については言うまでもなく鋭意な取り組みをお願いし、一人でも多くの組織拡大につなげていきたい」と訴えました。



辻村執行委員長

来賓には、九州労組吉田委員長・九州労組福岡地本田中委員長・北九州市議会山田議員・辻村中央執行委員長にお越し頂き、吉田委員長からは「JR産業において、感電や熱中症による死亡労災が起きていることを強く認識して頂き、九州労組として安全確立に向け取り組みを強化

していく。組織課題では、九州労組として全面的なバックアップをお約束し、これからも鋭意な取り組みをお願いしたい」と述べられ、山田市議からは、日頃のからの感謝を申し上げるとともに、「九州地区において、大雨被害等で線路被災が続いているが、安全最優先の業務をお願いしたい」と述べられました。

続いて、執行部より今後の運動方針案を提起し、質疑応答では、安全・組織・政策・政治等々について質疑があり、執行部・辻村委員長が答弁を行い、最後に財前委員長による「団結ガンバロー」を行い、大会を終えました。大会後、場所を移動して懇親会を開催し、さらなる親睦を図りました。



赤松書記長



吉田委員長



山田市議